

ONOSOKKI Technical Seminar 2022

小野測器 技術セミナー 2022

招待講演

廣澤 邦一 様

株式会社IDAJ MBDプロセス推進室

ユニバーサルミストの騒音対策事例 – 数値音響解析と音響測定と比較検討例 –

本事例は丸山製作所様のユニバーサルミストに対して更なる騒音低減を目指し、IDAJの数値音響解析技術と小野測器の音響測定技術とを合せて、有効な騒音対策案を提案するものです。本発表では、対策案策定までのワークフローをご紹介します。

チヨン・カー・ウィー 様

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準普及センター 国際計量室 工学計測標準研究部門

液体流量標準研究グループ

モビリティの低炭素化に資する燃料流量計測の精度と信頼確保

xEVの普及が進んでいる中、Well-to-WheelにおけるCO2の総排出量が重要な環境負荷の指数になっています。特にICEを備えたハイブリッド車は、Tank-to-WheelにおけるCO2の排出低減と燃費向上がさらなる環境性能の課題になっています。自動車産業の低炭素化、そして競争力の維持に資する計測基盤として、産総研の取り組みを紹介します。

宇野 重雄 様

dSPACE Japan株式会社 CX技術部 部長

カーボンニュートラル化で加速する自動運転車両の実機 + 仮想環境でのハイブリッドテスト

近年加速するカーボンニュートラル化に伴い、最新の自動運転車両の開発においては、実物を使ったテストが必要最低限まで減らし、仮想空間での開発・検証との組み合わせで行われています。自動運転で必要とされる様々なセンサー(カメラ・レーダー・ライダーなど)を使ったシミュレーション環境の最前線をご紹介しますとともに、小野測器と協業により業界最コンパクトなテストベンチシステムを紹介します。

古賀 俊行 様

日産自動車株式会社 パワトレ・EV技術開発本部 パワトレ・EV先進技術開発部

車両モデル(Functional Digital Vehicle)と実機パワートレインベンチとの融合による多性能開発

開発初期のパワートレインで車載状態の評価をすることが品質向上のために求められています。

本発表では、必要な精度を維持しリアルタイムに演算できる車両モデルの開発と、このモデルとパワートレインベンチを繋ぐインタフェースの開発を行い、このベンチで車両挙動を忠実に再現する技術を構築したので報告します。

水嶋 教文 様

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 省エネルギー研究部門 エンジン燃焼排気制御グループ

車両・エンジンのModelicaモデル無償公開に向けた産総研の取り組み

産総研では自動車用パワートレインの燃費・排出ガス性能検討を目的とし、Modelica言語を用いて電動化に対応した車両・エンジンシミュレーションモデルを開発しています。本講演では、開発したモデルの概要と、オープンイノベーションを推進するためのモデル無償公開に向けた今後の展開について紹介します。

	5/25(水)	5/26(木)	5/27(金)
13:00			
13:30	廣澤 邦一 様	チヨン・カー・ウィー 様	⑤
14:00			古賀俊行 様
14:30	①	③	⑥
15:00	②	④	
15:30	桑野園子 様	宇野 重雄 様	水嶋 教文 様
16:00			

会 場 Webex Meetings(ライブ) 申込者に専用URLをご案内いたします。

定 員 100名

ご用意いただくもの イヤホン、マイク(質疑応答の際に必要です。)

<お問い合わせ>

株式会社小野測器 グローバルサポートグループ セミナー担当

TEL(045)476-9711

E-mail:seminar_support@onosokki.co.jp

ONOSOKKI